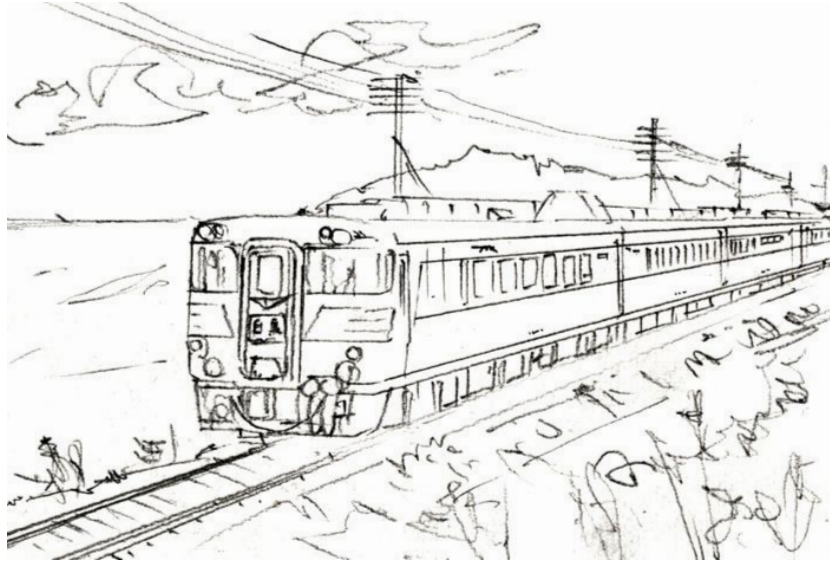


特急白鳥号は、大阪と青森を結んでいた特急列車です。東京を通らずにひたすら日本海側を走り、かつて昼間の特急列車としては日本最長を誇っていました。私は電車特急時代の白鳥号に一部区間だけ乗ったことがあります。気動車時代の白鳥号は、ディーゼルエンジンの音を響かせながら北陸本線や羽越本線を力走していました。食堂車の利用客は、日本海を見ながらゆったりと食事を楽しめたでしょう。



下絵です



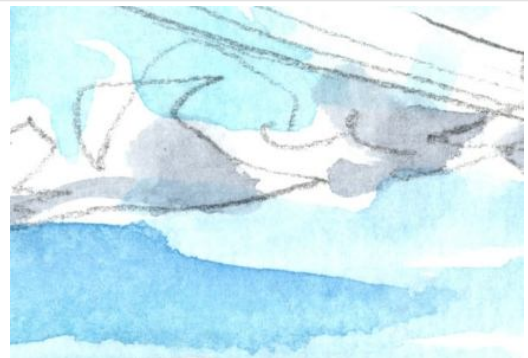
これが完成した絵です



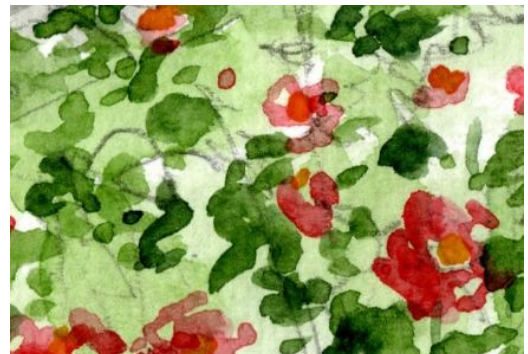
1、この型の気動車は、顔がハンサムです。縦横比、窓や灯火の配置がとても重要です。



2、車両によって微妙に窓の配置がちがいます。この画では3両目が食堂車で、一部窓が高くなっています。



3、雲はあっさりとして描きました。しかし簡単に影をつけて、立体感も表現しています。



4、近景にハマナスを描いてみました。ハマナス(ハマナシ)は北海道だけでなく、東北地方にも自生しています。